

# 支援プログラム

事業所名

はぴるど

(放課後等デイサービス)

作成日 令和7年2月14日

法人（事業所）理念	障がいのある人もない人も安心して暮らしていけるような社会を作っていく 「この子が主役」であるために専門性をもって一人ひとりの個性を尊重する	
支援方針	障害児への日常生活における基本動作の支援、身辺自立の支援、生活の質の向上などを図ることができるよう、障害児の心身その他の状況及びその置かれている環境に応じて、機能訓練、身体機能に関する相談・アドバイス、個別活動を行う	
営業時間	通常登校日 9時から18時まで 学校休業日（長期休み等） 8時30分から17時30分まで	送迎実施の有無 有：学校から事業所 （保護者希望に事業所の運行都合が合った場合、家庭などにも送迎する）
項目	支援内容	
本人支援	健康生活	◆健康状態の観察や維持、基本的な生活スキルの習得、日常生活動作獲得を支援します。 □バイタルチェック（検温、呼吸状態・顔色・活気の観察など）排泄介助（おむつ交換、トイレ介助など） 食事介助（摂取介助、咀嚼・嚥下への配慮など）、整容動作（更衣動作、手指消毒など）
	運動感覚	◆様々な感覚刺激により発達を促し、望ましい姿勢や運動の獲得を支援します。 □感覚の評価（過敏・鈍麻など）、感覚の入力（個性に合った指示、遊びの選定） 姿勢・運動の評価（座位・立位・上肢・下肢・体幹など）、姿勢・動作の獲得（遊び・活動の実施）
	認知行動	◆感じることや行動する経験を通して、自分と他者や物の概念を深め注意力・判断力を育みます。 □認知力の評価（注意力・判断力・想像力など）、遊びや訓練の提供（課題と難易度の調整） 生活との関連強化（獲得した概念や経験を学校や家庭での能力につなげる）
	言語コミュニケーション	◆他者とのやりとりにおける可能性を広げ、安心して過ごせることができる関係づくりを支援します。 □発達段階に合わせたコミュニケーションの選択、非言語的コミュニケーションの活用、個別・集団の選択 読み書き支援（読み聞かせ、言葉遊び、宿題支援など）
	人間関係社会性	◆遊びや活動などを通して、挨拶や役割、ルールを守るなどの社会性を育みます。 □参加者の特性に合わせた活動の選定。言葉遣いや決まりの説明と理解。ストレスの管理。 感情のコントロールなど
家族支援	◆発達の基盤となる家族関係や家庭生活を安定・充実できるように支援します。 □家族のリフレッシュ、発達状態や特性の理解に向けた相談援助、子育てや障害に関する情報の提供。	
移行支援	◆各ライフステージにおける移行がスムーズに行われるよう、成人期を見据えた支援を行います。 □学校や家族との連携・情報の共有。移行時期に考えられるリスクの抽出と予防。	
地域支援 地域連携	◆生活全般に関する保健・医療・福祉・教育等の関係機関とともに、本人主体な連携を行います。 □相談支援事業所や他サービス事業所と密に連携をとります。その際本人・家族の意向を重視します。	
職員の 質向上	虐待・身体拘束防止 人権擁護 感染対策 ガイドラインの理解 障害の理解（肢体不自由 発達障害 神経筋疾患） 災害BCP 腰痛対策	
主な 行事等	避難訓練 誕生会 収穫祭 クリスマス会 肝試し会 流しそうめん会 おやつ作り（ケーキ、クッキー、ピザ、ホットサンド、お好み焼き、冷やし中華、おでん、等など）	